





【架線集材】

人力木寄、機械木寄									
林小班	号線	工程	集材距離 (m)	林地傾斜 (人力)	径級 (人力)	1本当り 資材材積 (m3/本)	搬出素 材材積 (m3)	全幹材 (内書) (m3)	山元普通 (内書) (m3)
計									

搬出費・プロセッサ造材(架線系集材 I 段目)				
林小班	号線	使用の有無	樹種	1本当り 資材材積 (m3/本)
2434い	1	有	人工林ヒノキ	0.71
2434い	2	有	人工林ヒノキ	0.71
2434い	3	有	人工林ヒノキ	0.71
2434い	4	有	人工林ヒノキ	0.71
2408い	1	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	2	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	3	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	4	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	5	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	6	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	7	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	8	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	9	有	人工林ヒノキ	0.26
2408い	10	有	人工林ヒノキ	0.26

搬出費・車両系(トラクタ等)集材					使用機械	ウインチ付グラブ		搬出費・(プロセッサ造材・車両系集材)		搬出施設費・副作業(車両系集材)
林小班	号線	集材距離 (m)	林地傾斜	林地状況	搬出素 材材積 (m3)	全幹材 (内書) (m3)	山元普通 (内書) (m3)	使用の有無	樹種	トラクタ動作延長 (m)
計										

山元巻立・最終巻立				
林小班	号線	巻立 種類	使用 機種	巻立素 材材積 (m3)
2434い	1~4	山元普通	グラブ	280
2408い	1~10	山元普通	グラブ	230
計				510

搬出費・フォワーダ運搬													
林小班	号線	運搬距離 (m)	勾配	路面状況	搬出素 材材積 (m3)	山元普通 (内書) (m3)	林小班	号線	運搬距離 (m)	勾配	路面状況	搬出素 材材積 (m3)	山元普通 (内書) (m3)
							計						







【ヘリ集材】

事業名：製品生産請負事業（素材生産 木曾1鈴ヶ沢）

作業条件表

国有林	林小班	面積	伐採率	樹種	資材		利用率	生産量 m <sup>3</sup>			下層植生 密・中・疎	平均林地 傾斜度	通勤補正 時間 分(往復)	歩行補正 時間 分(往復)	歩道 m		平均標高 m			集材距離 m		伐採から集材 までの月数	
		ha	%		本数	材積 m <sup>3</sup>	%	一般材	同販材	計					新設	修理	伐区	荷卸場	ヘリポート	最短	最長		
御岳	2434い	10.70	33	木曾五木			0%			0	密	30° 上	19	79			1,330	1,150	950	139	681	2	
				他N	1,957	1,519.20	46%	700		700													
				他L	596	298.89	17%	50		50													
				木曾五木			0%			0													
				他N			0%			0													
				他L			0%			0													
				木曾五木			0%			0													
				他N			0%			0													
				他L			0%			0													
合計		10.70			2,553	1,818.09	41%	750	0	750													

条件項目	内容
①大空輸及び小空輸について	単価に最寄りの基地～ヘリポートの空輸費を含める。
②ヘリ機種について	1本吊出来ない高品質材は、集材作業時に山床で半幹等にする事はやむを得ないが、地上作業では、1,800kgは無理なく吊れることを基準に造材するので、これら処理できる機種(以下標準機種いう。)により実施することを条件とする。 なお、造材してある材が吊れなかった場合、標準機種と同等か、それ以上の機種に入れ替え若しくは遅滞なく調達して行くことを条件とする。
③その他	上記以外は、国有林野事業製品生産事業請負契約約款、製品生産事業中部森林管理局仕様書、製品生産事業請負標準仕様書、入札説明書の添付書類によるほか、監督職員の指示によるものとする。